

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類		授業担当者																															
音楽基礎Ⅰ		（講義・演習・実習）		風間 章子・廣野 仁美																															
授業の回数 12 回		時間数（単位数） 24 時間（2 単位）		配当時期 前期																															
				必修・選択 必修																															
[授業の目的・ねらい] ・ [授業の目的・ねらい] ・ 保育者としての音楽の基礎知識、ピアノ技術・歌唱法を習得することを目的とする。 ・ [授業全体の内容の概要] ・ 受講生各々の進度に合わせて、個人レッスンとグループレッスンを交互に行う。個人レッスンでは主にスクーリング課題曲を教材とする一方、グループレッスンでは、コードネームを使った弾き歌いを中心として、演奏技術を発展させながら進める。 ・ [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・ 音楽の指導に必要な基礎事項がわかる ・ コードネームを使った弾き歌いを中心とした演奏技術を発展することができる。																																			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]（集団レッスンの内容） <table><tr><td><楽 典></td><td><実 技></td></tr><tr><td>1・2 音楽指導の基礎事項①（五線譜・音部記号と音名及び音階音符と休符）</td><td>授業の進め方や目標について</td></tr><tr><td>3 音楽理論の基礎事項②（拍と拍子の意味と指揮棒の振り方）</td><td>2・初心者 バイエル 35 番 経験者 バイエル 55 番</td></tr><tr><td>4 音程について①（度数の数え方、種類）</td><td>3. 初心者 バイエル 37 番 経験者 バイエル 59 番</td></tr><tr><td>5 音程について②（ 、 ）</td><td>4. 初心者 バイエル 39 番 経験者 バイエル 66 番</td></tr><tr><td>6・7 音階について（長音階・短音階・調号調名・音階各音の名称）</td><td>5. 初心者 バイエル 46 番 経験者 バイエル 73 番</td></tr><tr><td>7 主要三和音とその連結（三和音の種類・和音の基本形と転回系・主要三和音の連結）</td><td>6. 初心者 バイエル 49 番 経験者 バイエル 77 番</td></tr><tr><td>8、楽譜に用いられる記号と標語①（速度標語・記号の読み方と意味）</td><td>7. 初心者：3 5 ～ 4 9 経験者：バイエル 55～77 番より課題曲を選定し、個人練習</td></tr><tr><td>9、楽譜に用いられる記号と標語②（強弱記号の読み方と意味）</td><td>8 ↓</td></tr><tr><td>10、楽譜に用いられる記号と標語③（発想標語の読み方と意味）</td><td>9 ↓</td></tr><tr><td>11、楽譜に用いられる記号と標語④（奏法を示す標語・記号の読み方と意味）</td><td>10 ↓</td></tr><tr><td>12、楽譜に用いられる記号と標語⑤（反復記号・略記法を演奏を通して学ぶ）</td><td>11 弾き歌いの練習（メリーさんの羊・ぶんぶんぶん・ジングルベル・どんぐりころころ・大きな栗の木の下で等）</td></tr><tr><td></td><td>12 弾き歌いの練習（カエルの合唱・ちょうちょ・きらきら星・むすんでひらいて・手をたたきましょう等）</td></tr><tr><td></td><td>13 バイエル課題曲練習・弾き歌い曲（各自選定）練習</td></tr><tr><td></td><td>14 、 、</td></tr></table>						<楽 典>	<実 技>	1・2 音楽指導の基礎事項①（五線譜・音部記号と音名及び音階音符と休符）	授業の進め方や目標について	3 音楽理論の基礎事項②（拍と拍子の意味と指揮棒の振り方）	2・初心者 バイエル 35 番 経験者 バイエル 55 番	4 音程について①（度数の数え方、種類）	3. 初心者 バイエル 37 番 経験者 バイエル 59 番	5 音程について②（ 、 ）	4. 初心者 バイエル 39 番 経験者 バイエル 66 番	6・7 音階について（長音階・短音階・調号調名・音階各音の名称）	5. 初心者 バイエル 46 番 経験者 バイエル 73 番	7 主要三和音とその連結（三和音の種類・和音の基本形と転回系・主要三和音の連結）	6. 初心者 バイエル 49 番 経験者 バイエル 77 番	8、楽譜に用いられる記号と標語①（速度標語・記号の読み方と意味）	7. 初心者：3 5 ～ 4 9 経験者：バイエル 55～77 番より課題曲を選定し、個人練習	9、楽譜に用いられる記号と標語②（強弱記号の読み方と意味）	8 ↓	10、楽譜に用いられる記号と標語③（発想標語の読み方と意味）	9 ↓	11、楽譜に用いられる記号と標語④（奏法を示す標語・記号の読み方と意味）	10 ↓	12、楽譜に用いられる記号と標語⑤（反復記号・略記法を演奏を通して学ぶ）	11 弾き歌いの練習（メリーさんの羊・ぶんぶんぶん・ジングルベル・どんぐりころころ・大きな栗の木の下で等）		12 弾き歌いの練習（カエルの合唱・ちょうちょ・きらきら星・むすんでひらいて・手をたたきましょう等）		13 バイエル課題曲練習・弾き歌い曲（各自選定）練習		14 、 、
<楽 典>	<実 技>																																		
1・2 音楽指導の基礎事項①（五線譜・音部記号と音名及び音階音符と休符）	授業の進め方や目標について																																		
3 音楽理論の基礎事項②（拍と拍子の意味と指揮棒の振り方）	2・初心者 バイエル 35 番 経験者 バイエル 55 番																																		
4 音程について①（度数の数え方、種類）	3. 初心者 バイエル 37 番 経験者 バイエル 59 番																																		
5 音程について②（ 、 ）	4. 初心者 バイエル 39 番 経験者 バイエル 66 番																																		
6・7 音階について（長音階・短音階・調号調名・音階各音の名称）	5. 初心者 バイエル 46 番 経験者 バイエル 73 番																																		
7 主要三和音とその連結（三和音の種類・和音の基本形と転回系・主要三和音の連結）	6. 初心者 バイエル 49 番 経験者 バイエル 77 番																																		
8、楽譜に用いられる記号と標語①（速度標語・記号の読み方と意味）	7. 初心者：3 5 ～ 4 9 経験者：バイエル 55～77 番より課題曲を選定し、個人練習																																		
9、楽譜に用いられる記号と標語②（強弱記号の読み方と意味）	8 ↓																																		
10、楽譜に用いられる記号と標語③（発想標語の読み方と意味）	9 ↓																																		
11、楽譜に用いられる記号と標語④（奏法を示す標語・記号の読み方と意味）	10 ↓																																		
12、楽譜に用いられる記号と標語⑤（反復記号・略記法を演奏を通して学ぶ）	11 弾き歌いの練習（メリーさんの羊・ぶんぶんぶん・ジングルベル・どんぐりころころ・大きな栗の木の下で等）																																		
	12 弾き歌いの練習（カエルの合唱・ちょうちょ・きらきら星・むすんでひらいて・手をたたきましょう等）																																		
	13 バイエル課題曲練習・弾き歌い曲（各自選定）練習																																		
	14 、 、																																		

- | | |
|----|----------------------|
| 13 | わらべ歌についての学習 |
| 14 | 模擬試験(音楽理論・課題曲実技のまとめ) |
| 15 | 期末試験(音楽理論・課題曲実技のまとめ) |

[使用テキスト・参考文献]

- ・「新保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門」石橋夕子他著（北大路書房）
- ・「標準バイエルピアノ教則本」・「ブルグミュラー教則本」（全音楽譜出版）
- ・「幼児のための音楽教育」（教育芸術社） 「もっともわかりやすい楽典入門」（k m p

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- ・ 考查点(75%)
- ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。
- ・ 平常点(25%)
- ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。